



やはた

平成29年度 第13号

発行：3月20日（火）

文責：校長 栗原豊子

学習成果発表会

～3月3日～

3月に入り急に春めいてきたお天気のもと、たくさんの保護者・地域の皆様のお迎えして、日頃の学習の成果、今年度の成長の足跡を披露しました。



入学から約一年『こんな事もできるようになったんだ』と目を見張るような発表をしてくれた1年生。真剣な中にも『できる』ことの喜びに満ちていました。

大道具も演技も迫力満点だった2年生。体育館の隅々まで響き渡るような声で、見ている人の心に一生懸命に伝えようとしているのがわかり、とても感動しました。



時代を自由に歩き来する面白い場面設定だった3年生。自分たちの伝えたいことを、時にはユーモアを交えて披露し、一人一人の持ち味をうまく出していました。

認知症サポーターについて学んだこと、考えたこと、伝えたいことを劇を通して表現した4年生。体験活動が日常生活の中に生かされるような高まりを感じさせる発表でした。



水俣で、八幡校区で、授業で、学んだこと、考えたことを上手につなげ、力を合わせて表現した5年生。水の大切さをテーマに取り組んだ着眼点がすばらしく、一人一人の良さが光っていました。

長崎への修学旅行で学んだこと、訴えたいこと、これからの決意を力強く発表した6年生。



役作り、道具作りなど、小学校最後の発表会に向け全員で取り組んだ劇と迫力ある演奏に引き込まれるように、1～5年の子どもたちは身を乗り出していました。



また、器楽部は華やかな演奏でオープニングを飾りました。ぴたりと息のあった演奏はいつも聴く人の心に響きます。日頃の練習の成果を披露し、楽しませてくれました。

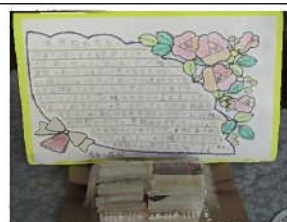
事前の準備から当日の運営・進行を担当した実行委員会の頑張りもあり、本年度の学習発表会も成功の内に終わることができました。



たくさんのご参観と温かい拍手に心から感謝します。ありがとうございました。

巣立ちの日を前にして ～6年生の取組～

卒業を前に、6年生が様々な活動に取り組んでいます。



2月の内に、6年生から届いた「挑戦状」は6年生対先生達のソフトバレーボールの試合でした。歓声と笑い声が体育館いっぱいに響いた試合の後、先生一人一人へのメッセージと家庭科の授業で作ったおいしいサンドウィッチをいただきました。

4日（日）、おやじの会の活動で、親子卒業記念作業が行われ、運動場への坂道沿いに描かれていた壁画が色鮮やかによみがえりました。ご協力ありがとうございました。



また、登校した八幡っ子の目に真っ先に飛び込んでくる場所に手作りの案内板がお目見えしました。

三つの宝や八幡レンジャーがカラフルに描かれています。草木の緑にも溶け込んで素敵です。用務の坂梨先生に手伝ってもらって6年生の手で設置しました。



このほか、朝の挨拶運動やトイレぴかぴか運動にも取り組んできた6年生。3日後に巣立ちの日を迎えます。

社会体育移行に関して ～校内検討委員会報告～



平成30年末をもって学校部活動が社会体育に移行するにあたり、12月のアンケート、2月の追調査等にご協力いただきありがとうございました。

『保護者運営による八幡小スポーツクラブ』に対し何らかのご意見をいただいた50家庭を対象に、校内検討会へのご案内をしましたところ、10名の参加がありました。

13日開催の『部活動移行に係る校内検討会』には、山鹿市児童スポーツ環境整備運営委員会から、山鹿市体育協会会長兼コーディネーター島田直孝先生、山鹿市教育委員会学校教育指導室吉野栄治審議員においでいただきました。

まず、坂本 PTA 会長よりこれまでの経緯を、校長より追調査の結果を報告しました。次に、質疑応答、意見交換を行いました。指導者確保、年度毎の引き継ぎが難しいこと、クラブを立ち上げたものの翌年部員不足になった過去の事例、部活動はあってほしいが保護者運営になった場合の責任の所在、会議の参加状況から立ち上げは難しいと思われること等の意見が出ました。

さらに、島田コーディネーターからクラブ立ち上げに関して次のような留意点をお話いただきました。

- 目的・方向性をしっかりもっておくこと
- 立ち上げに関して徹底して議論しておくこと
- 事業計画・活動拠点を明確にしておくこと
- 指導者・活動資金（指導者謝礼・保険など）の確保
- 運営会議・会則の必要性

これまでの全家庭対象アンケートと今回の検討会での協議の結果、保護者運営による八幡小スポーツクラブ設置に関する取組は『しない』という結論に達しましたことをご報告いたします。

最後に、カルチャースポーツセンターや豊かな自然など八幡小がたいへん恵まれた環境にあることを再度確認し、校内検討会を閉会しました。